

【平成15年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	アニマルセラピー・コーディネーター育成プログラム開発と実践		
学校法人名	学校法人 中央工学校		
学校名	中央動物専門学校		
代表者	理事長 大森 厚	担当者 連絡先	校長 坂本 敏 東京都北区東田端一丁目 8-11 TEL 03 - 3819 - 1111

< 事業の概要 >

動物がもつ癒しの力を使って、心身にさまざまな問題を持つ人々のために精神・身体的リハビリを施すアニマル・アシステッド・セラピーや動物とのふれあい活動によるQOL（Quality Of Life）の向上を目指したアニマル・アシステッド・アクティビティーを計画・実施・検討するアニマルセラピー・コーディネーターの育成を目的とした教育プログラムの開発を行う。また、高齢社会や障害者の社会性の改善に向けて、アニマルセラピー分野の開拓及び人材育成のみならず、教育効果促進、産業振興、新規雇用創出などにおいても貢献することを狙いとした。

< 成 果 >

本事業では、アニマルセラピー・コーディネーター認定基準や制度、研修プログラムの実態調査・調査分析から開始し、認定要件の定義、基準、制度の策定を図った。その後、それらに準拠した教育プログラム及び教材の開発をし、教育効果測定及び有効性の検証のための講習会を実施した。

アニマルセラピーのコーディネートができる人材育成プログラムの開発と実践が目的であったが、動物及び福祉の両方が直接生命に関係する分野であるため、各専門家からの指導もあり、リスクを考慮した上で「動物介在活動を深く理解し、何よりも経験を積むこと」が最終的な到達点となった。講習会を受講後のアンケート調査によると「アニマルセラピー・コーディネーター」の職業への就業希望者が参加者の半数以上という結果を得たものの、アニマルセラピー・コーディネーターは、福祉の知識や動物の専門知識、さらに心理学の精通したカウンセラーや活動施設等との交渉及び調整力が必要であり、数回受講した参加者であっても、その域には至らなかった。

高齢社会問題を抱えた病院や動物病院、ペットショップやサロン、福祉施設では、アニマルセラピー・コーディネーターの必要性が理解されつつあるが、動物介在活動の実践場所である福祉施設では、受け皿としての雇用面では実現できていないところが多い。雇用促進としての、法的あるいは社会的に職業として奨励するシステムの必要性を痛感した。

【 講習会の概要 】



[ 講 義 ]

2つの分野の講義によりコーディネーターに求められる基礎知識を習得する。  
福祉・医療分野からは、人に対する接し方の基本を学ぶ。  
動物分野からは、人獣共通感染症・糞訓練など動物を福祉施設に導入する際の流れや注意点を学ぶ。



[ 活動シミュレーション ]

実際の動物介在活動を想定し、「活動施設との連携のとり方」から活動が終了するまでの一連の流れを、施設利用者、動物ハンドラー、アニマルセラピー・コーディネーターと関連するそれぞれの立場・状況から体験する。



[ 動物介在活動 ]

活動シミュレーションを基にアニマルセラピー・コーディネーター、動物介在活動経験者とともに活動犬を連れて老人ホーム等福祉施設を訪問し、活動の補助を体験しながら活動時の利用者の反応や表情の変化、活動犬とハンドラーの様子などを観察し、役割を習得する。